

令和3年春の叙勲・褒章

旭日双光章



平成15年に浜岡町議会議員、平成16年からは御前崎市議会議員を務めた。令和2年まで17年間にわたり在職し、平成30年から令和2年は議長を務めた。この他にも、議会運営委員会委員長、文教厚生委員会委員長、原子力対策特別委員会委員長、総合開発計画策定特別委員会委員長、行財政改革特別委員会委員長、病院対策特別委員会委員長など要職を歴任。豊富な経験と卓越した識見をもって地方自治の伸展に貢献した。

議長就任時は、2年にわたり市議会の運営の要として力を尽くすとともに、住みよいまちづくりのために最大限にその指導力を発揮した。

旭日双光章



平成16年に御前崎市議会議員に当選した。16年の永きにわたり在職し、平成20年から22年まで副議長を務めたほか、文教厚生委員会委員長、原子力対策特別委員会委員長、行財政改革特別委員会委員長、議会運営委員会副委員長、監査委員などの要職を歴任した。豊富な経験と卓越した識見をもって市政の発展や住民福祉の向上に貢献した。

平成20年に副議長に就任した際には、市議会運営の要として住みよいまちづくりのために最大限にその指導力を発揮した。また、市民にとって安全で安心できる地域社会を目指し、市政の発展のために市議会運営に意欲的に取り組んだ。

瑞宝双光章



昭和37年に中学校の教員となり教頭、校長を務めるなど50年以上にわたり教育に尽力。そのほかにも、平成16年から令和2年まで御前崎市選挙管理委員会委員長を務め、適正な選挙運営に寄与。16年の間に衆議院議員総選挙を5回、最高裁判所裁判官国民審査を5回、参議院議員通常選挙を6回、参議院静岡県選出議員補欠選挙を1回、静岡県知事選挙を4回、静岡県議会議員選挙を4回、市長・市議会議員選挙を4回、住民投票を1回執行を行った。令和2年に執行された市長・市議会議員選挙は、新型コロナウイルスの感染予防対策と選挙の適正な執行を両立させた。

瑞宝単光章



昭和52年3月に相良高校を卒業後、駒澤大学に進学し、一般企業に就職したのち、昭和59年4月航空自衛隊の防衛技官として採用された。令和2年3月に定年退職するまで、約35年の長きにわたり航空自衛隊の充実発展に尽力した。

在職中においては、設備機械管理として基地内の設備の耐震性工事や空調機などをはじめとした設備機械の維持管理といった数多く事業を担当するほか、豊富な知識と経験により、適切な予算執行に努め、基地が保有する各装備品などの計画的な維持補修において全般統制を行うなど、円滑な基地機能の維持管理に大きく貢献した。